

令和7年度

中核機能強化加算の算定に当たる 地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取り組みの実施状況について

富士市立こども発達センター みはら園

1 業務内容

	基本要件 確認事項	取り組み、実施状況
1	市町村及び地域の関係機関との連携体制を確保しているか。	自立支援協議会こども部会や、こども支援連絡会などに参加し連携を図っている。
2	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制を確保しているか。	就学したこどもたちの引継ぎや、学校訪問を行い連携を取っている。また、必要に応じて保護者に子どもの様子を伝えてきた。放課後デイサービスとの引き継ぎも行い、スムーズに移行できるよう取り組んでいる。 家族支援について、みはら園では保護者との面談やクラス参観を毎月行い、保護者向けの勉強会を実施している。
3	地域の障害児通所支援事業所との連携体制を確保しているか。	年2回、地域の障害児通所支援事業所などが参加できる研修会や、講座などを開催している。
4	インクルージョンの推進体制を確保しているか。	保育所等訪問支援の指定を有している。
5	入口としての相談機能を果たす体制を確保しているか。	障害児相談支援の指定を有している事業との連携体制を確保しており、発達支援の入り口の相談を行っている。
6	地域の障害児支援体制の状況及び基本要件に関する取り組みの状況を年に1回以上公表しているか。	令和8年3月 市のウェブサイトで公表実施
7	自己評価の項目について、外部評価を概ね年に1回以上受けているか。	令和7年11月～令和8年2月 4つの中核機能について 自己評価実施 令和8年3月10日 富士市手をつなぐ育成会理事2名による第三者評価実施
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。	年度当初、年間計画を策定し、年10回程度の職員研修を実施

2 第三者評価

評価日	評価結果
令和8年3月10日	<ul style="list-style-type: none">・身近な相談場所として発達相談室「からあ」が市内にあることは、子どもの発達に心配がある親御さんにとって、心の支えとなる。・地域の園や事業所、関係機関と連携をしながら切れ目のない支援をお願いしたい。地域の保育、支援の質を高めていってほしい。・育成会として、市全体、地域にインクルージョンの推進を期待したい。